

3 具体的な進め方

(1) 協働の手法

① 「協働ミーティング」の実施

協働事業の立ち上げの中心となる実務協議の場として、すべての協働の「種」について、各部所で協働事業ごとに随時、関係する多様な主体とワーキンググループを設置し、具体的協働事業化に向けて検討する場とします。

② 「備中県民局協働事業提案募集制度」の推進

備中県民局の協働事業をより一層、活性化させるために各部所が抱える個別の課題や、今後、取り組むべき事項として、次の7つを個別テーマとして設定し、併せて、テーマを定めない提案も可能とすることにより、NPO等からの自由な発想やエネルギー、意見等を広く反映させることとしております。

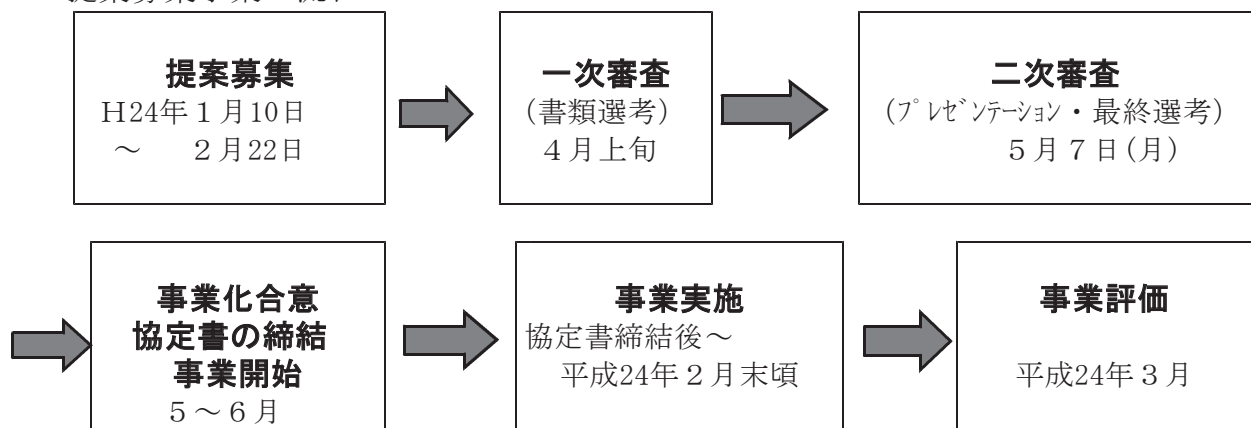
今年度は、昨年度を上回る40事業もの応募があり、一次審査(書類審査)を経て、5月7日に協働事業審査委員会を開催し、応募団体からのプレゼンテーション及び審査を経て13事業を選考いたしました。

今後は、担当部局と協働しつつ、積極的に事業を実施してまいります。

<提案募集制度 募集テーマ>

①男女共同参画社会づくりの推進 備中県民局管内各地域の現状と課題を踏まえた男女共同参画を推進するための効果的な事業の企画・運営
②備中地域の地域・伝統文化の発信 H22に本県で開催された国民文化祭により盛り上がった文化に対する気運の醸成を捉え、備中地域の個性ある文化等をクローズアップし、広く情報発信を行うことにより地域の文化振興を図る事業の企画・運営
③地域防災力の向上 想定外の巨大災害に対してハード面以上に必須となるソフト面での備えに対し、推進主体となる地域の防災力向上を推進するための効果的な事業の企画・運営
④地球温暖化防止対策の推進 県民が地球温暖化問題について意識改革を図ることができ、身近なところから地域を巻き込んで取り組むことのできるアイデアに富んだ地球温暖化防止対策の企画・運営
⑤ふるさとの山・川・海を守り育てる環境保全活動 高梁川や瀬戸内海、緑豊かな森林など、ふるさとの優れた環境を次世代に引き継いでいくため、地域住民、事業者等が一体となり、知恵と熱意を結集して取り組むふるさとの山・川・海の環境保全活動の企画・運営
⑥耕作放棄地の解消 地域の農業者の活動に加え、都市住民や企業、NPO、教育機関、行政機関等、地域内外の多様な人々の支援等を活用した耕作放棄地の解消・地域活性化モデルの立案及び実証
⑦鳥獣害に強い地域づくり活動 農業所得の減少や生産意欲の減退につながっている野生鳥獣の被害に対し、鳥獣害防止対策支援チームの設置や、被害発生集落における防護や捕獲の技術指導及び生息状況や捕獲鳥獣の利活用に関する調査、研究事業の企画・運営

< 提案募集事業の流れ >



(2) 協働推進体制の整備

① 県民局推進体制

ア) 岡山県備中県民局協働事業審査委員会の設置

学識経験者、NPO支援関係者等から構成する「岡山県備中県民局協働事業審査委員会」を設置し、提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言、評価を求めます。

< 岡山県備中県民局協働事業審査委員会委員 >

委員名	所属・職名等
松畑 熙一	(委員長) 中国学園大学・中国短期大学 学長
岡崎 順子	岡山県立大学保健福祉学部 教授
小川 孝雄	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
古賀 桃子	ふくおかNPOセンター 理事長
鶴 理恵子	吉備国際大学社会学部 准教授
永瀬 一雄	倉敷市市民協働推進部 次長

(敬称略)

イ) 庁内協働推進連絡会議の開催

県民局内の各部所の課室長等で組織する「備中県民局協働推進連絡会議」を設置し、情報の共有、連絡調整を図りながら、県民局の重点テーマ、重点事業、提案公募テーマ等に関する局内議論を充実させる場として活用し、総合的かつ効果的な施策の推進に努めます。

ウ) 行政職員・NPO等への協働研修の実施

地域での協働の担い手となる県民、ボランティア・NPO、各種団体等の多様な主体や行政職員（県職員・市町職員）に対して、協働の手法についての普及啓発や地域のニーズに沿ったテーマによる協働研修会を実施し、人材の育成、資質の向上等を図ります。

② 管内市町との協働推進体制

協働の取組の成果を管内各地域に広げ、「新しい公共」等、新たな取組を強力に推進していくためには、住民に最も身近な基礎自治体である市町との連携が不可欠です。このため、県民局と管内市町協働推進担当課等で「管内市町協働担当課連絡会議」を開催し、意見交換、情報交換等を行い、連携強化と情報の共有を図ります。

4 地域活力創出事業の実施

地域活力創出事業は、平成23年度より「県民局が地域の課題やニーズを踏まえ、地域での総合調整力や企画力を発揮し、市町村、商工団体、農業団体等との連携をはじめとした県民協働により、計画的な事業展開を図り、地域産業の振興や地域社会の連帯感の強化など地域の活力を創出すること」を目的として創設された事業であり、「自然、伝統、文化、地場産業など幅広い地域の資源を活用し、地域の産業振興など地域の活力の創出につながる特色あるソフト事業」を対象として、「地域の特性等を踏まえ、2～3年程度先を見据えつつ重点的に取り組むべき施策を明らかにした県民局重点施策方針及びこれに基づく事業計画を策定」することとされております。

平成24年度は、上記の事業目的や対象、及び平成23年度に実施してきた事業の効果や進捗状況を踏まえつつ、新たな課題に取り組むべく、次のとおり、「備中県民局地域活力創出事業重点施策方針」を定め、事業を推進してまいります。

備中県民局 地域活力創出事業 重点施策方針

1 管内の状況

備中地域は、県三大河川のひとつである高梁川が南北を貫流し、北部の中国山地から中部の高原部を経て、南部の平野部、瀬戸内海まで起伏に富んだ地形を有している。

この豊かな自然環境の下に、備中地域の特徴として

- ・マスカット、ピオーネや千屋牛など優れた農林水産物を生産
- ・倉敷美観地区や瀬戸内海などの世界に誇れる1級の観光地と吹屋などの個性的な観光地の存在
- ・水島地区の大企業群から児島・井原の繊維産業など伝統ある地場産業までの多彩な産業活動
- ・特産品づくりや子育て支援など多くの分野にチャレンジするNPO等の存在・成長など、十分に魅力的な地域資源を有している。

2 課題

備中地域は、その地形的な条件から多くの中山間地域を包含しており、

- ・高原部や山間地に小規模高齢化集落が点在
 - ・人口減少・少子高齢化により、医療環境の悪化、耕作放棄地の増加、事業所の減少
 - ・落石・高潮・津波など防災上のリスクが高い地域が存在
- などの課題を有している。

3 地域活力の創出に向けた取組方針

このような状況の中で、備中県民局では、「第3次おかやま夢づくりプラン」の初年度として、その行動計画を踏まえ、中山間地域に活力を与えることが管内全域の活力創出と地域振興につながる有効な方策であるとの認識のもと、次の施策・事業を展開し、備中地域の活力を創出するものである。

このため、平成23年度の状況をもとに、管内の県民、ボランティア・NPO、町内会等の自治組織、商工団体や農業団体、企業、大学、市町などの多様な主体と相互に連携し、ネットワーク化を図りながら、備中地域ならではの「地域モデル」・「産業モデル」の構築を行っていく。

I 「安全・安心で暮らしやすい備中」

- 保健福祉・医療の体制の充実
- 日常生活を不便なくおくれる環境の整備
- 防犯力・防災力の強化

II 「夢と元気にあふれる備中」

- ソーシャルビジネスや地場産業への支援
- 地域資源を生かした観光・文化の振興
- 豊かな自然環境を活用した新エネルギーの推進